

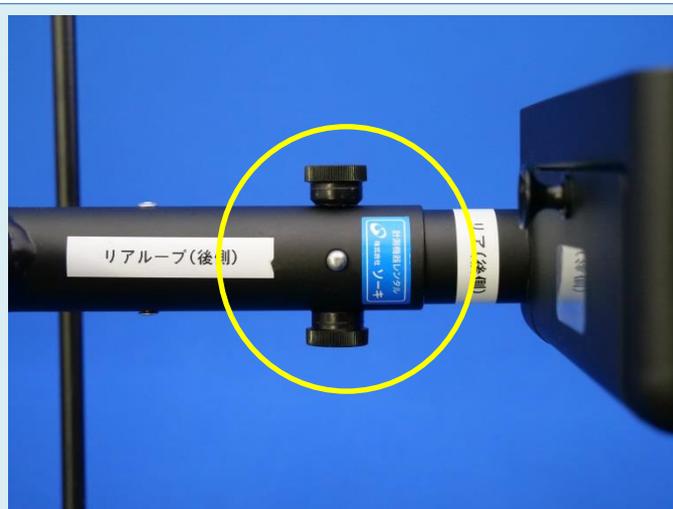
簡易取扱説明書

金属探知機 TM-808



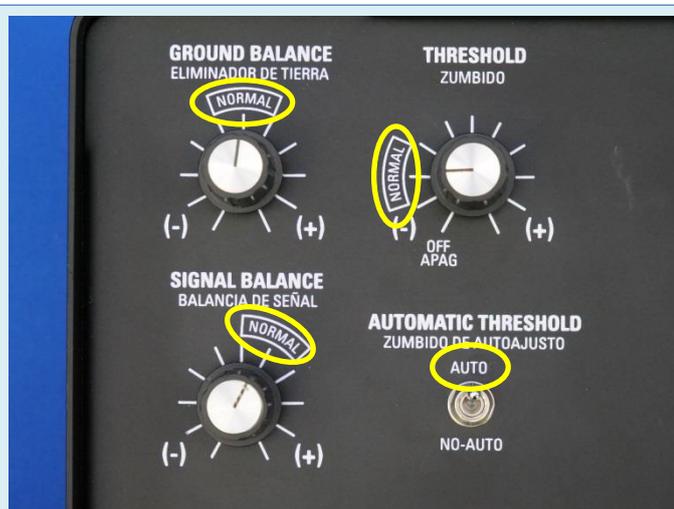
- ② フロントループを本体に取り付けます。本体の「フロント（前側）」と記された接続箇所（図）にフロントループを差し込みます。この時、フロントループに空いている3カ所の穴の内、中間のサイズの穴に本体側の突起部を押しながらかつて接続して下さい。接続したらサムナットとボルトで固定します。

※接続時には指を挟まない様ご注意ください。



- ① リアループを本体に取り付けます。本体の「リア（後側）」と記された接続箇所（図）にリアループを差し込みます。この時、リアループに空いている3カ所の穴の内、中間のサイズの穴に本体側の突起部を押しながらかつて接続して下さい。接続したらサムナットとボルトで固定します。

※接続時には指を挟まない様ご注意ください。



- ④ 「GROUND BALANCE」ツマミ
「SIGNAL BALANCE」ツマミ
「THRESHOLD」ツマミを「NORMAL」の位置に合わせます。
「THRESHOLD」は電源のON/OFFも兼ねておりますので、「OFF APAG」から時計方向に回した時点で電源がONになります。
「AUTOMATIC THRESHOLD」を「AUTO」にします。

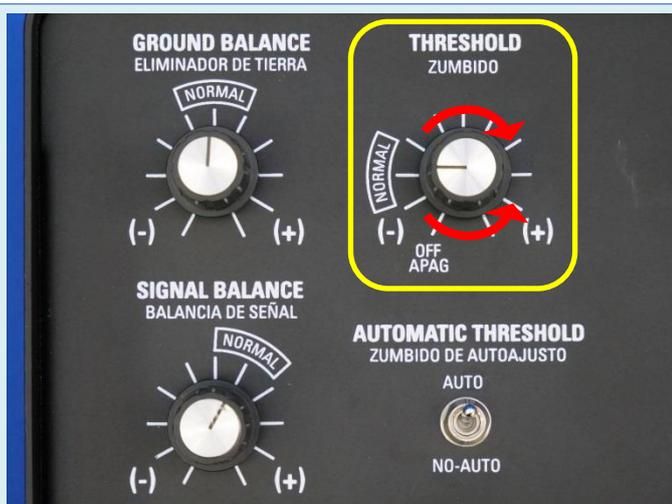


- ③ TM-808のハンドルを持ってスーツケースを持ち歩く様な感じで測定して下さい。

※ハム音（ブザー音）が大きく鳴ったら違う方向からも測定し、目印を付けながら音が大きく鳴る交差位置を特定して下さい。

簡易取扱説明書

金属探知機 TM-808



- ⑤ ハム音（ブザー音）の調整は「THRESHOLD」ツマミで行えます。同じ測定対象物を検知した際に音が大きいと感じる場合は（-）方向へツマミを回し、小さいと感じる場合は（+）方向へツマミを回して調整して下さい。

※基本的には全て NORMAL でご使用頂く事をお勧め致しますが、現場様の状況により微調整を行うための機能となります。



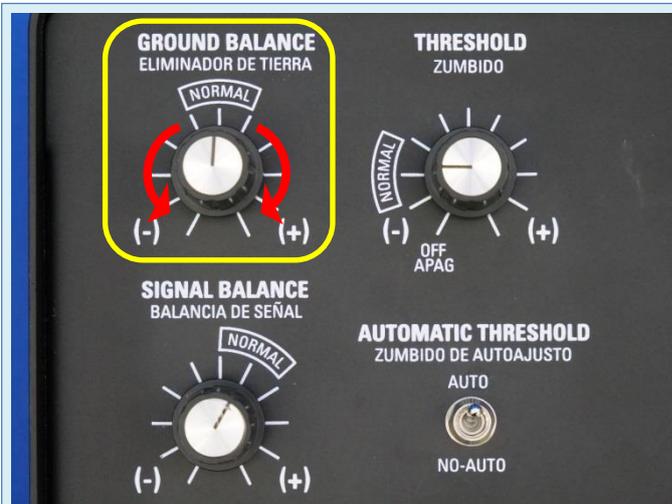
- ⑥ ハウリングが酷く起こる際は「SIGNAL BALANCE」を（-）方向へ少し下げるなど調整し、ハウリングが収まったらハンドルのプッシュボタンを約 1 秒押ししてリセットして下さい。

※基本的には全て NORMAL でご使用頂く事をお勧め致しますが、現場様の状況により微調整を行うための機能となります。



- ⑦ 感度を上げ下げする場合は「SIGNAL BALANCE」を調整します。基本的に「SIGNAL BALANCE」を（+）（-）に調整した際は「GROUND BALANCE」をその反対に調整します。
(例 / 「SIGNAL BALANCE」を+に調整したら「GROUND BALANCE」を-に調整)

※基本的には全て NORMAL でご使用頂く事をお勧め致しますが、現場様の状況により微調整を行うための機能となります。



- ⑧ 測定場所が砂鉄分が多い場所などの場合は「GROUND BALANCE」を（-）へ下げて調整し「SIGNAL BALANCE」を（+）に上げて調整し測定してみてください。

※基本的には全て NORMAL でご使用頂く事をお勧め致しますが、現場様の状況により微調整を行うための機能となります。